

安全データシート

作成日：2022年10月1日

ヨウ化セシウム

1. 製品及び会社情報

製品名 : ヨウ化セシウム
会社名 : 株式会社 合同資源
住所 : 〒299-4333 千葉県長生郡長生村七井土1545-1
担当部門 : 営業部
電話番号 : 0475-32-2302
FAX番号 : 0475-32-1115
電子メールアドレス : sales@godoshigen.co.jp
緊急連絡先電話番号 (夜間・祝祭日) (株) 合同資源 千葉工場
TEL 0475-32-2122

推奨用途 : 一般工業用途
仕様上の制限 : 上記の用途以外の使用はしない。

2. 危険有害性の要約

GHS分類 分類実施日 : 令和元年度 政府向けGHS分類ガイダンスを使用
物理化学的危険性 : 該当せず

健康に対する有害性 : 急性毒性 (経口) 区分4
: 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 分類できない
: 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) (区分1), 甲状腺

環境に対する有害性 : 水生環境有害性 短期 (急性) (区分1)
: 水生環境有害性 長期 (慢性) (区分1)

ラベル要素 絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : H370 臓器の障害
: H372 長期にわたる、又は反復曝露による臓器の障害
: H400 水生生物に非常に強い毒性
: H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き 安全対策 : P260 粉じん、ミストを吸入しないこと。
: P264 取り扱い後は皮膚を良く洗うこと
: P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
: P273 環境への放出を避けること

応急措置	: P308+P311 暴露又は暴露の懸念がある場合は 医師に連絡すること。
	: P391 漏出物を回収すること。
保管	: P405 施錠して保管すること。
廃棄	: P501 内容物や容器は関係法令に基づいた処理施設 に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質	: 純物質
化学名又は一般名	: ヨウ化セシウム
分子式 (分子量)	: CsI (259.81)
CAS 番号	: 7789-17-5
官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	: 化審法(1)-1063 : 安衛法 非該当
濃度又は濃度範囲	: 99.9%以上

4. 応急措置

吸入した場合	: 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい 姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	: 付着部を大量の水で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けるこ と。
目に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズ を着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も 洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受け ること。
飲み込んだ場合	: 口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤	: 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	: なし
特有の危険有害性	: 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発 生するおそれがある。 不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分 解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれ がある。
特有の消火方法	: 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護	: 適切な空気呼吸器、防護服 (耐熱性) を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 保護具および緊急措置	: 作業者は適切な保護具 (『8. ばく露防止措置及び保護 措置』の項を参照) を着用し、眼、皮膚への接触や吸入 を避ける。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離
--------------------------	--

環境に対する注意事項	： する。関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。
回収・中和	： 環境中に放出してはならない。 ： 漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。
封じ込め及び浄化方法・機材	： 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。
二次災害の防止策	： プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	： 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	局所排気・全体換気	： 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
	安全取扱い注意事項	： 眼、皮膚との接触を避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと。 飲み込みを避けること。 取り扱い後は手を洗う。
保管	技術的対策	： 吸湿性あり
	保管条件	： 容器を密閉して保管すること。 ： 施錠して保管すること。
	容器包装材料	： ポリエチレン、PET、ガラス

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	： 未設定	
許容濃度（ばく露限界値、 生物学的ばく露指標）	： 未設定	
	日本産衛学会 ACGIH	： TWA 0.01ppm(ヨウ化物 2019)吸引性部分または蒸気
設備対策	： この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 ： 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。	
保護具	呼吸器の保護具	： 防塵マスクを着用すること。
	手の保護具	： ゴム手袋等を着用すること。
	眼の保護具	： ゴーグル型保護眼鏡を着用すること。
	皮膚及び身体の保護	： 長袖白衣または作業衣を着用すること。
衛生対策	： 取扱い後はよく手を洗うこと。	

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	形状	： 固体
	色	： 白色
	臭い	： なし
融点・凝固点	： 621°C	
沸点、初留点及び沸騰範囲	： 約1280°C	
可燃性	： なし	
爆発下限界および爆発上限界	： 分類対象外	
引火点	： 分類対象外	

自然発火温度	: 分類対象外
分解温度	: 分類対象外
pH	: 分類対象外
動粘性率	: 分類対象外
溶解度	: 水 440g/L (0°C)
n-オクタノール/水分配係数	: 分類対象外
蒸気圧	: 1Pa (523°C)
密度	: 4.5
相対ガス密度	: 分類対象外
粒子特性	: 分類できない

1 0. 安定性及び反応性

安定性	: 空気中の酸素で徐々に分解しヨウ素を放出する
混触危険物質	: 酸化剤(ヨウ素蒸気を発生させるおそれがある)
危険有害な分解生成物	: ヨウ素

1 1. 有害性情報

急性毒性	: LD ₅₀ 2386mg/kg(ラット経口)
皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 分類できない
呼吸器感作又は皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 人に対する発がん性物質としては分類されない。
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	: 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	: 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。
誤えん有害性	: 分類できない

1 2. 環境影響情報

生態毒性	: 分類できない
残留性・分解性	: 分類できない
生体蓄積性	: 分類できない
土壌中への移動性	: 分類できない
オゾン層への有害性	: 分類できない

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報	: Environmentally hazardous substance, solid, n. o. s. 有害性クラス9 容器等級Ⅲ
	航空規制情報	: Environmentally hazardous substance, solid, n. o. s. 有害性クラス9 容器等級Ⅲ
	UNNo.	: 3077(環境有害性物質 固体)
国内規制	陸上規制情報	: 該当しない
	海上規制情報	: 該当しない
	航空規制情報	: 該当しない
	特別安全対策	: 重量物を上積みしない。 : 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 : 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法	: 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）第606号 沃素化合物
毒物及び劇物取締法	: 非該当

1 6. その他の情報

参考文献	化学大辞典 共立出版社（1997） 化学便覧 基礎編 改定5版 丸善（2004） 増補改訂 ヨウ素綜説 霞ヶ関出版（1992） 化学品安全管理データブック 化学工業日報（2000） 各データごとに記載のある物はそれらを参考とした。
------	---

※ 本製品安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂することがあります。また、SDS中の注意事項は通常の手扱を対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は、用途、使用方法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。

以 上